



産官学地域協働連携会議

産官学地域協働連携会議は、大学・短期大学と、地域の企業、経済団体、地域の団体や自治体等とが一体となった人材育成や、これら産業界等の大学に対するニーズを踏まえた教育改善や体制整備を産官学地域協働で実現するために設置しました。産業界等や大学等それぞれが抱えている人材育成に対する課題をもちより、大学で実践されている教育が産業界等のニーズを反映した教育内容になっているかについて検証・評価を行うとともに、人材育成に必要な産業界ニーズの把握、各委員会への参加、産官学地域協働による人材育成のネットワークづくり、企業人材ニーズ・データベースづくりなど、継続的な産官学地域協働の人材育成の在り方とその仕組みづくりをめざします。

大阪・兵庫・和歌山 「産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実」



合同フォーラム「みんなで作ろう明日の人材」

合同フォーラムは、明日の人材を産官学地域協働で作っていくための基盤づくりとして、本取組を可視化させるために、以下を目的として開催します。

- 本取組成果の発表の場
- 産業界ニーズ把握を直接行う場（学生、大学）
- 大学の人材育成の取組について直接産業界に知ってもらう場
- 大学の人材育成の取組を産業界から直接評価してもらう場
- 改善点を探る場
- 大学の人材育成のめざすところについて広報・啓発の場



お問い合わせ

大阪府立大学（幹事校）

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

TEL: 072-252-1161 (代表)

事務局（南大阪地域大学コンソーシアム内）

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町130-42 さかい新事業創造センター

TEL: 072-240-7071 / FAX: 072-240-7081

<http://www.sneeds-kansai.jp/>



主催 和歌山大学・大阪府立大学（幹事校）・兵庫県立大学・追手門学院大学・大阪音楽大学・大阪工業大学・大阪成蹊大学・関西外国語大学・摂南大学・帝塚山学院大学・芦屋大学・大手前大学・神戸学院大学・大阪音楽大学短期大学部

協力 近畿経済産業局、関西経済連合会、関西生産性本部、大阪府中小企業団体中央会、関西広域連合（構成団体：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、大阪市、堺市）、和歌山市、兵庫県経営者協会、和歌山県経営者協会

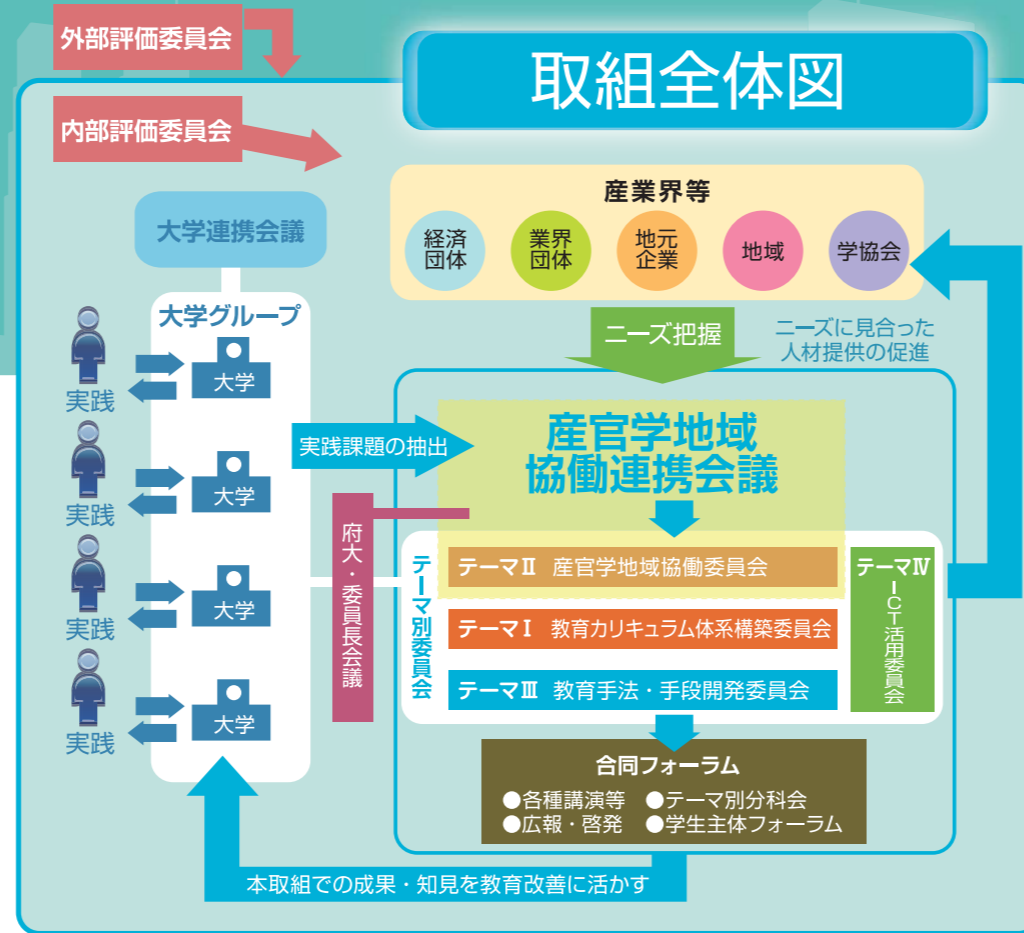
事業概要

本取組は、大阪・兵庫・和歌山の地域の課題である「特徴ある中小企業が多いものの学生に情報が浸透していない」点及び「大学が輩出する人材と産業界等が求める人材とのミスマッチ」に対して、関西地域の産業界等のニーズを丁寧に把握し、各大学での特色あるキャリア教育のカリキュラム体系・教育内容、産業界等との連携、インターンシップやPBLをはじめとする教育手法・手段、ICT活用のそれぞれの実践から得られる知見を活かし、その上で、各取組にフィードバックし取組を修練させ、すべての参加大学でミスマッチの改善をめざします。それとともに、産業界・大学間協働のバリエーションのストックや機能チェックができる「人材育成のための仕組み」を作り、産業界等が求める人材を育成する教育の改善・充実と、それらを実現するために産官学地域協働による継続的な教育環境づくりをめざすものです。なお、本大学グループが位置する関西地域は、大阪・兵庫・和歌山と広域ではあるが府県をまたいで通学している学生も多く、生活圏や就職先からみても関西という1つの包括的な地域とみなされることから、広域による地域差より特徴ある中小企業を活かすという地域特性を重視して、企業の領域や規模の違いによる産業界ニーズをふまえたものとしします。

本取組を通じて、大学教育を踏まえた産業界等内部での教育・研修が可能となり、長期にわたって一貫性のある効果的な人材育成ができることをめざしています。

【各委員会所属大学名】

- テーマI** 大阪府立大学、大阪工業大学、摂南大学、帝塚山学院大学
- テーマII** 大阪府立大学、兵庫県立大学、追手門学院大学、大阪音楽大学、大阪音楽大学短期大学部、神戸学院大学
- テーマIII** 和歌山大学、大阪府立大学、追手門学院大学、大阪工業大学、関西外国語大学、摂南大学、帝塚山学院大学、芦屋大学、大手前大学
- テーマIV** 大阪府立大学、大阪成蹊大学、関西外国語大学、帝塚山学院大学、芦屋大学

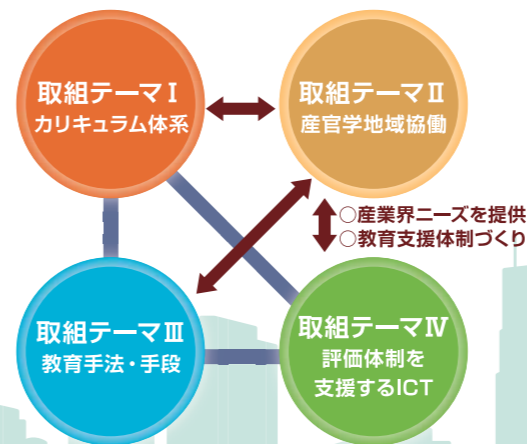


取組全体を情報発信・啓発

4つの取組テーマ

- テーマI** 「領域・規模別産業界ニーズをふまえた教育カリキュラム体系・内容の構築」
- テーマII** 「人材のミスマッチの解消をめざす産官学地域協働」
- テーマIII** 「領域・規模別産業界ニーズをふまえた教育手法・手段の開発」
- テーマIV** 「評価体制づくりのための効果的なICT活用」

4つの取組テーマは、テーマI「カリキュラム体系」、テーマII「産官学地域協働」、テーマIII「教育手法・手段」、テーマIV「評価体制を支援するICT」の4つの委員会を設置し、各委員会では、それぞれのテーマについて産業界ニーズが反映されているかを産学協働で検証・評価し、改善策を検討し、その成果を各大学へ還元していきます。テーマIⅢⅣの取組テーマにより各大学の人材育成の現状を体系的に把握するとともに、テーマIIによって産業界ニーズを把握し、それらの結果をテーマIⅢⅣの各委員会へ提供します。各委員会では取組テーマごとに、現状で実践されている教育が産業界ニーズを反映しているかを検証、評価するとともに改善策を検討し、その成果を全14大学へフィードバックし、それぞれの大学が行っている人材育成の教育改善やそれを実現するための体制整備につなげていきます。



テーマI

領域・規模別産業界ニーズをふまえた教育カリキュラム体系・内容の構築

キャリア教育に関して各大学が現在までにすでに実施しているカリキュラム体系・内容を把握し、教育実施上の課題を抽出するとともに、産業界等が求める人材の育成に寄与するかどうかの観点から上記のカリキュラム体系・内容を検討し、その課題（人材マッチ上の課題）を明確化することで、カリキュラム体系・内容の質的な向上や保障をめざします。最終的には、効果的なカリキュラムや教育内容についてカリキュラム体系のモデル構築をめざします。

テーマII

人材のミスマッチの解消をめざす産官学地域協働

産官学地域協働連携会議の意向を受け、その実働を担い、効果的な人材育成を行うために産業界等の協力を得て、
 a) 産業界等のニーズの詳細を把握
 b) 産官学地域協働の支援体制づくり
 c) 企業人材ニーズ・データベースづくり をめざします。

テーマIII

領域・規模別産業界ニーズをふまえた教育手法・手段の開発

各大学で実施しているインターンシップ、PBLやその他の新たな取組を把握してその内容を分析し、取組実施上の課題を検討することで、領域・規模別の産業界ニーズに合致したキャリア教育の手法や手段の開発をめざします。

テーマIV

評価体制づくりのための効果的なICT活用

各大学のICT活用の取組内容を共有し、課題を抽出し検討する中で、学生の成長を促すために学習や活動や能力・資質を効果的に支援するICTを活用した評価体制のモデル化をめざします。

共通部分

テーマI、テーマIII、テーマIVの各委員会は、それぞれ以下の流れによって現状で実践されている教育が産業界ニーズを反映しているかを産官学協働にて検証し、改善策を検討します。そして、成果を各大学へフィードバックし、各大学は、成果をもとに教育改善や教育体制の整備を図ります。テーマII委員会は、テーマIⅢⅣの各委員会に対して産業界ニーズの情報提供や教育実践支援体制の充実等についてネットワーク化を図ります。産官学地域協働連携会議からは、産業界等から4委員会に委員あるいはオブザーバー参加し、大学の実践に対して、検証、評価を行い、改善策を産官学協働で検討することとします。

